

単元名 きせつの言葉4

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 語句の量を増やし、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。
 (2) 経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。
 (3) 語句の量を増やし、その季節らしさを表現した文章を書こうとする。

標準的な展開例

03010218_001

【教材名】冬のくらし (下 P. 86～P. 87)

【準備等】国語辞典

学 習 活 動	留 意 事 項 など
1 冬のくらしに関わる言葉を探し、話し合う。 ★「冬」から思い浮かぶ言葉を集めよう。 ○教科書の言葉から知っている言葉を発表したり、連想する言葉を出し合ったりする。 ○身の回りにある冬を感じる言葉を集める。 ○雪にまつわる言葉を探したり、冬に美味しいとされる食べ物挙げたりする。 2 冬を感じたものについて文章を書く。 ★冬を感じたことについて書こう。 ○身の回りで見付けた冬を感じたものについて書く。 ○書いた文章を友達と読み合い、交流する。	・教科書 (P. 86) の文例を参照させる。 【評】冬に関するものを探す活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・冬に関わる言葉を集めた前時のノートを参考に作らせる。絵札と読み札と作って遊ぶのもよい。 【評】冬を感じたものについて書く活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 【評】冬らしさを表現した文章を書く活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】